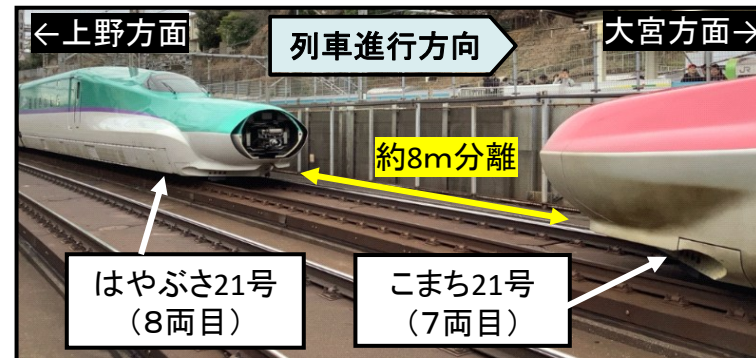


JR東日本 東北新幹線 鉄道重大インシデント(車両障害) 経過報告(概要)

重大インシデントの概要

- 発生日時：令和7年3月6日（木）11時30分頃
- 発生場所：東北新幹線 上野駅～大宮駅間
- 概要：本件列車（17両編成）は、上野駅～大宮駅間を走行中、自動的にブレーキが動作し停車した。停止後に確認したところ、本件列車の7両目と8両目が分離していた。（死傷者なし）

《発生時の列車の状況》



判明している主な事実情報

- 本件列車は、上野駅を出発後、速度約61km/hで走行中、ブレーキが動作し停止。
- 運転士が運転台の車内モニターを確認したところ、車両情報について17両目まで表示されるべきところ、先頭頭から7両目までしか表示されていないことを認めた。
- その後、車掌が車両の状況を確認したところ、本件列車の7両目と8両目が分離していた。
- 列車分離した7両目後側の連結器において、連結錠テコ※が「開・閉」動作を不規則に繰り返す状態が認められた。

※連結錠テコ：連結や解放を行う「連結錠」を動作させるレバー

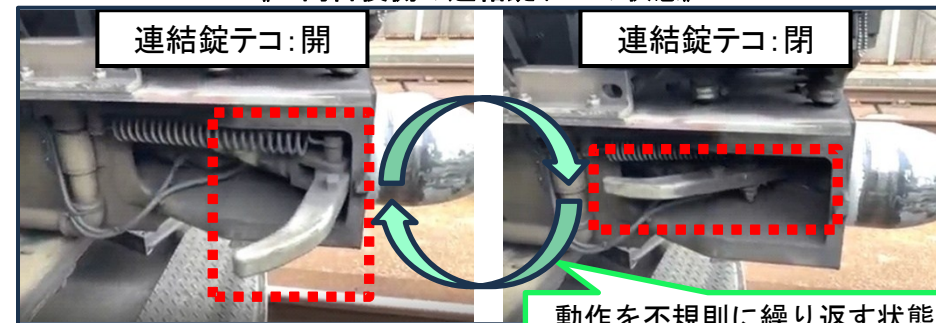
《分離した連結器（8両目側）》



《分離した連結器（7両目側）》



《7両目後側の連結錠テコの状態》



今後の調査

これまでの調査で得られた情報をもとに、列車が分離した経緯など、本重大インシデント発生時における連結器の動作に関わる更なる事実確認や分析等を行う。